

経営比較分析表（令和2年度決算）

秋田県大館市 扇田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
70,423	9,305	第2種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
62	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	104
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
62	42	104

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するため、扇田病院は次の役割を担います。

- ① 総合病院との連携を強化し、回復期医療および慢性期医療を担う、地域に根差した特色ある医療の提供
- ② 人間ドック、企業健診などの健診事業の展開
- ③ 訪問診療や訪問看護などの在宅医療の充実

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率や② 医業収支比率、④ 病床利用率については、新型コロナウイルス感染症による外来受診控えによる患者数の減少や、スタッフ不足に伴う入院調整などにより大きく低下しました。

⑤ 入院患者1人1日当たり収益は、令和2年7月から一般病床の一部を地域包括ケア病床に転換したことにより増加しています。

⑦ 職員給与費対医業収益比率は、職員数に大きな増減はないものの患者数の減少が要因で医業収益が減少したために比率が増加しています。一方で⑧ 材料費対医業収益比率では、医業収益が減少しましたが、材料費も減少したため比率は減少しています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、平均値を上回る状態が続いています。病院建物は使用開始から30年以上経過しており、特に建物内部の給排水管は経年劣化が進んでいます。また、② 機械備品減価償却率でも、平均値よりも高い状態が続いています。優先度の高い設備、機器を毎年度更新をしています。病院全体の老朽化が進んでいます。

③ 1床当たり有形固定資産では、優先度の高い機器を整備検討委員会において選定することで、最優先機器の検討による支出抑制を行い、近年は平均値を大きく下回っています。

全体総括

人口減少や慢性的な医師不足に伴う患者数の減少で、近年収益は減収していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく落ち込みました。

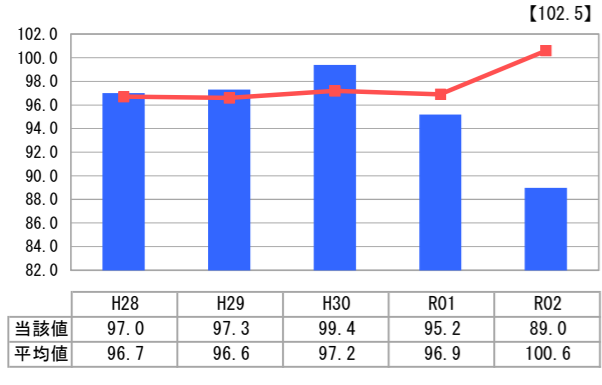
経営改善のため、次のとおり取り組みます。収入では、地域における在宅医療充実の一環として、在宅療養支援病棟の施設基準を取得しており、24時間在宅患者を支援する体制を維持していきます。

費用では、職員の適正な配置による人件費削減での費用削減に努めます。

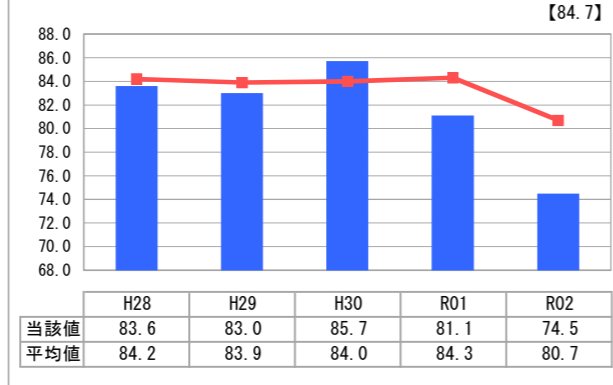
今後も医師確保や経費削減に一層努めながら、地域の需要に応える医療を提供する病院運営を引き続き行っていきます。

1. 経営の健全性・効率性

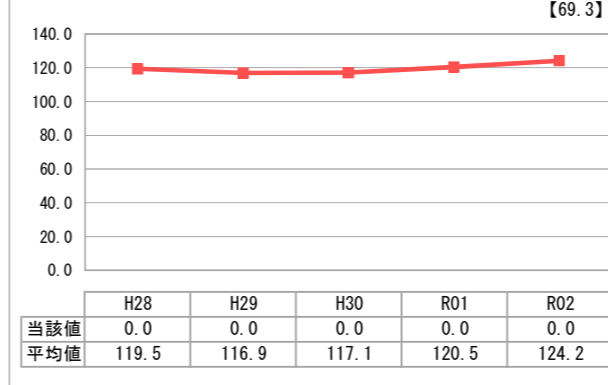
① 経常収支比率 (%)



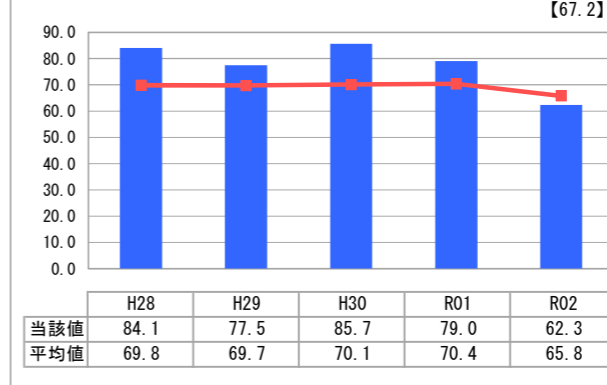
② 医業収支比率 (%)



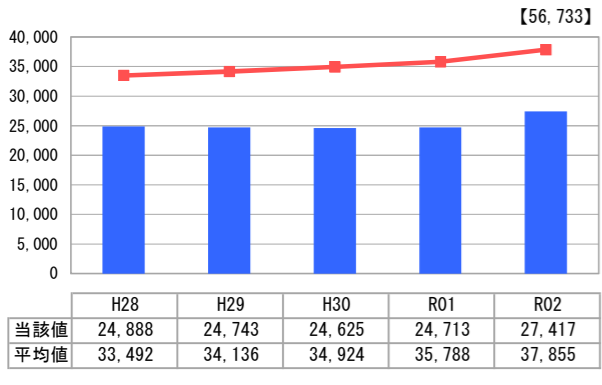
③ 累積欠損金比率 (%)



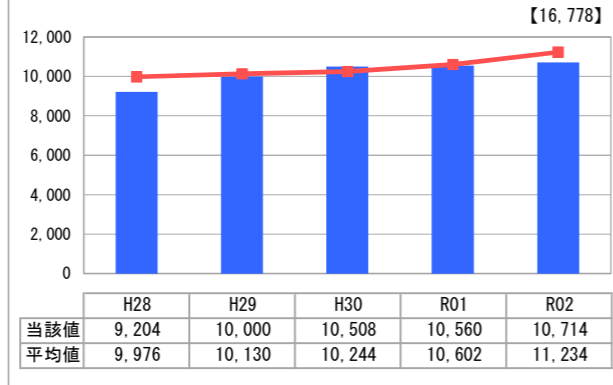
④ 病床利用率 (%)



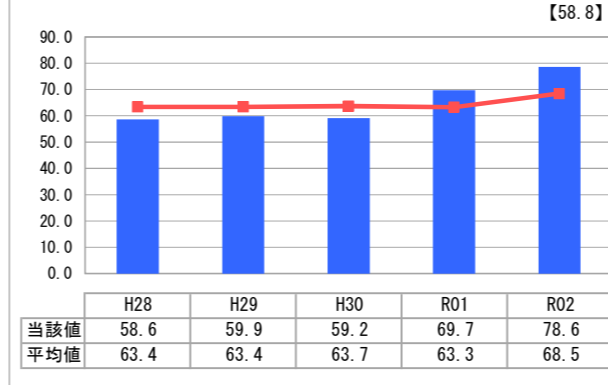
⑤ 入院患者1人1日当たり収益 (円)



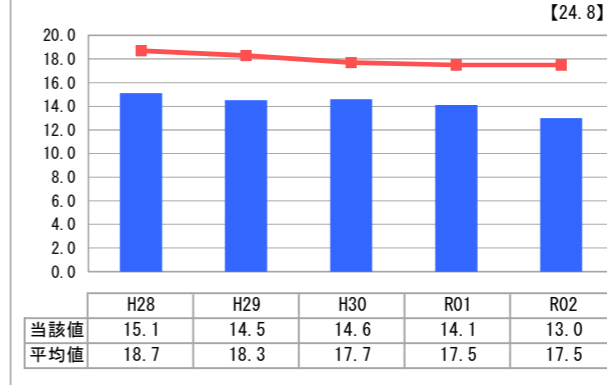
⑥ 外来患者1人1日当たり収益 (円)



⑦ 職員給与費対医業収益比率 (%)

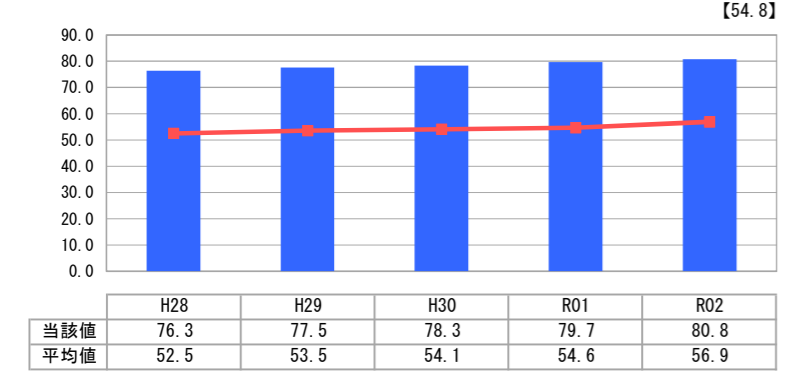


⑧ 材料費対医業収益比率 (%)

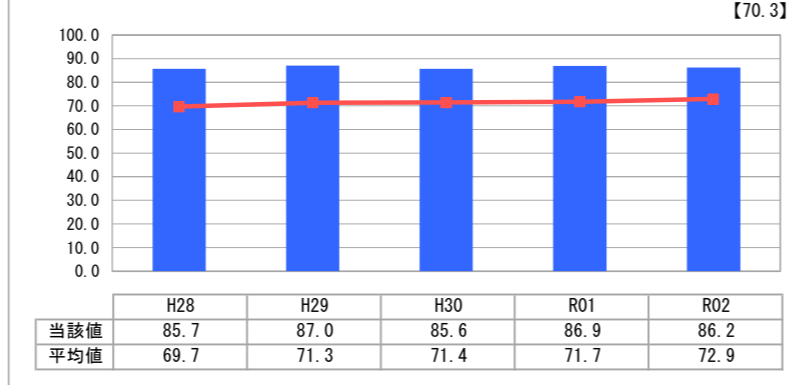


2. 老朽化の状況

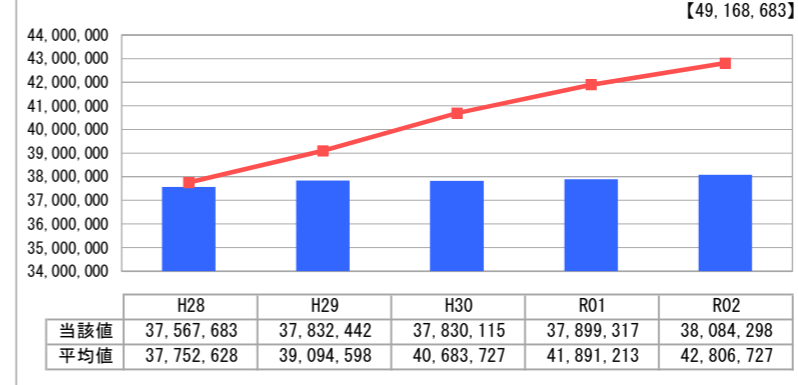
① 有形固定資産減価償却率 (%)



② 器械備品減価償却率 (%)



③ 1床当たり有形固定資産 (円)



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。